

まとめて選択

毎日送られてくる多数のメールを、タイトルを見て残すべきか削除すべきかを判断して、受信フォルダーを区分して保存したり、纏めて削除したり、という処理を行われている方も多いと思います。この時対象のメールを1件1件「選択してはドラッグ & ドロップ(または削除)」を繰り返してはいませんか？

メールに限らず、エクスプローラー(ファイルマネージャー)や Excel など、Windows のアプリケーションの多くでは、ファイル等を「まとめて選択」して、「ドラッグ & ドロップ」や「削除」などの操作を一括して行うことができます。

エクスプローラーの操作で説明します。

① すべてのファイルを一括して選択

ツールバー上の「すべて選択」をクリックします。

あるいは「Ctrl」キーと「A」キーを同時に押下しても「すべて選択」が働きます。

② 連続したファイルを一括して選択

最初のファイルをクリックして選択した後、選択したい最後のファイルを「Shift」キーを押しながらクリックすると、その間のファイルをまとめて選択することができます。

最初のファイルを選択した後、「Shift」キーを押しながら「End」キーを押すと末尾まで選択できます。

先頭行を選択してこの操作を行えば、①と同じことになります。行数の多い場合は末尾までドラッグするよりも「End」キーを押した方がずっと素早く操作できますよ。

③ とびとびのファイルをまとめて選択

「Ctrl」キーを押しながらファイルを次々とクリックしていくと、とびとびのファイルも同時に複数選択することができます。また、選択されたファイルを「Ctrl」キーを押しながらもう一度クリックすると、そこだけ選択が解除されます。②と③を組み合わせることで、さらに効率よく選択ができると思います。

④ ドラッグによる複数選択

対象の複数の連続したファイルを囲むようにマウスでドラッグ & ドロップすれば、囲まれた範囲のものがまとめて選択されます。